



九州工業大学 秋季研修 平成30年10月1日(月)

九州工業大学 工学部の紹介



今回の研修で卒業後の進路について考えることができました。工学部の中でも様々な学科があって進路選択の幅が広がりました。大学を選ぶときには、自分が何になりたくてどの学科に行く必要があるのかをよく考えることが大切だと実感しました。

山路 紗矢(松崎中出身)



体験学習「総合的学問「建築」への招待」

工学研究院 建設社会工学研究系 准教授 徳田 光弘 先生

30枚の紙を使ってどれだけ高いタワーを作れるかという「ペーパータワーチャレンジ」の活動では事前に構造についてよく考え設計をすることの大切さを学ぶことができました。ものづくりをする中では、論理的に考える「垂直思考」と斬新なアイデアを生み出すための「水平思考」のどちらを大事にするかによって出来上がるものが大きく変化することが分かりました。多面的に考えるように「水平思考」を大切にしていこうと思いました。

古本 怜士(香椎第3中出身)



ペーパータワーチャレンジ



作製した模型

建築社会工学科の研修では、グループごとに2つのお題が与えられ、限られた材料の中で模型を作製するというものでした。私の班はお題が難しく、何度も悩むことがありましたが話し合ったり、作業を分担したりすることでなんとか完成させることができました。この経験を通して、一人ではできないことも多くの人の多様な考えが集まることでより良いものを生み出すことができると身をもって実感することができました。

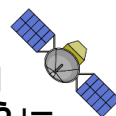
野中 祐希(松崎中出身)



講義「九工大の学生たちによる深宇宙の探査」

—深宇宙探査機「しんえん2」と地球低軌道環境観測衛星「てんこう」—
工学研究院 先端機能システム工学研究系 教授 奥山 圭一 先生

奥山先生の講義はワクワクする内容ばかりでした。大学生が作った人工衛星がNASAやNASAのロケットとともに打ち上げられていることや、日本でも九工大にしかない高度な実験装置があることに驚かされました。「失敗することを恐れず、失敗した悔しい思いを忘れない。失敗を失敗のままで終わらせず、成功につなげる。」という言葉がとても印象に残っています。



深宇宙の探査についての講義をして頂いた奥山先生は宇宙船や宇宙ステーションの開発に携わっており、とても楽しそうに話をされていて、本当に好きだという気持ちがひしひしと伝わってきました。宇宙ラボラトリーの見学では、九工大にしかない実験器具も多くあり、そのスケールに圧倒されました。

飛永 浩貴(糟屋中出身)

